

2月12日 こどもたちの登下校の安全のために

町と小学校および浦添警察署で通学路合同点検を実施し、各小学校区内の登下校時の危険場所および標識等の確認を行いました。その中で、西原東小学校区内にあるファミリーマート西原小橋川店そばのスクールゾーン標識の文字が見えづらくなっていたことから、新しく作り替えて設置をしました。

製作者の提案で西原町観光キャラクターである「さわりん」を取り入れており、ご当地キャラを使用した標識は県内ではめずらしい事例です。

今後もこどもたちが安心して登下校できるよう合同点検を実施していきます。



(気をつけるりん)

2月15日 バスツアーで県内戦跡を巡る 戦争の悲惨さ平和の尊さを学ぶ

令和7年度西原町平和バスツアー「～沖縄戦における米軍上陸の地から侵攻ルートをとどる～」が開催され、11組24名が参加しました。

バスツアーでは県内の戦跡・資料館など5か所を訪れ、「ニシバル歴史の会」会員である瀬戸隆博さんのガイドにより、戦跡の説明と当時の戦争の様子が語られました。

参加した玉那覇歩夢さんは「このような機会を通じて戦跡・戦災地に自ら足を運び平和への意識を高め、正しい歴史を次の世代に繋げていきたい」、城間涼夏さんは「今、生きている私達が今後の未来のために、こども達のために平和な世界を繋げていきたい」と振り返りました。

巡回コース 砂辺馬場公園(北谷町)→嘉数高台公園(宜野湾市)→前田高地(浦添市)→一中健児の塔/一中戦没学徒資料室(那覇市)



2月17日 西原小学校で「ちゅらさんコンサート」を開催!

沖縄県警察音楽隊による「ちゅらさんコンサート」が西原小学校で開催されました。このコンサートは、音楽隊と各地域の警察署が連携し、音楽を通して地域のこどもたちの交通安全や防犯への意識を高めるとともに、警察官をより身近に感じてもらうことを目的としています。

当日は、指揮者の大城衝さん率いる音楽隊の迫力ある演奏が体育館いっぱい響き渡りました。また、浦添警察署交通課の松原孝文さんによる講話も行われ、児童たちは音楽を楽しみながら自転車の安全な乗り方について学ぶ貴重な機会となりました。最後は、音楽隊と本校音楽部の演奏で校歌を斉唱し、会場は一体感に包まれました。



2月20日 日本損害保険協会から消防団車両が寄贈されました

東部消防組合消防本部構内において車両寄贈式が執り行われ、一般社団法人日本損害保険協会より『小型動力ポンプ付軽消防自動車』1台が寄贈されました。同協会による車両寄贈は、防災活動の一環として、地域における消防力の強化・拡充に貢献することを目的に全国の市区町村には昭和27年度より、離島には昭和57年度より行われています。

同消防組合は「寄贈いただいた車両を有効に活用し、地域住民の皆様の安全・安心の確保に向けて、より一層努めてまいります」と感謝の意を述べました。



2月22日 マラソンで心も体もリフレッシュ!

第6回西原町マラソンが西原町運動公園で開催され、2kmの部に142名、5kmの部に34名の計176名のランナーがエントリーしました。自己ベスト更新を狙うランナーや家族でジョギングを楽しむ方はそれぞれの目標に向かって爽やかな汗を流しました。

競技終了後のお楽しみ抽選会では、1月にサッカーキャンプを行ったヴィッセル神戸のチームグッズが贈呈され、会場は大いに盛り上がりしました。また、沖縄ヤクルト(株)から飲み物、JAおきなわ西原支店から黒糖の提供があり、完走したランナーたちの心と体を癒やしました。



2月24日 令和7年度沖縄県統計功績者表彰受賞者の紹介

1月26日に行われた令和7年度沖縄県統計功績者表彰伝達式において、新里慶子さんが総務大臣表彰を受賞されました。また、同伝達式で、仲宗根武則さんが農林水産大臣賞を受賞されました。統計功績者表彰は、統計局が実施する統計調査に関して、通算10年以上調査員として従事いただいた方の中から、その成績が優秀かつ他の模範となる調査員に対して行われます。

新里さんは「私が統計調査員を続けられているのは、地域の皆様に優しく対応いただいているからです」と話しました。



2月25日 西原町立学校通学区域の見直しについて

この度、西原町立学校通学区域等審議会で検討してきた通学区域の見直しの答申書がまとまり、同審議会の松田庄一郎会長から新島教育長へ答申が行われました。

町教育委員会では答申の内容を尊重し、通学区域の見直しを実施していきます。なお、答申書および審議内容につきましては、右記QRコードからご確認ください。



▲西原町HP



2月25日 児童の防犯・交通安全を願って新1年生へ寄贈

西原町立4小学校の新1年生に向けたランドセルカバー等贈呈式が町役場で行われました。今回の贈呈は、新入学児童が黄色いランドセルカバーや反射材付き巾着袋を身に着け、運転手に注意を促すことにより、交通事故防止を図ることを目的としています。また、児童の防犯意識の高揚を図るため、「いかのおすし」クリアファイルも贈呈しました。

新島教育長は「地域の大人が一丸となってこどもの命を守るための意識づけに繋がるため、大変感謝している。新1年生が安全・安心な学校生活を送れるよう、活用していく」と述べました。

寄贈者

西原町交通安全推進協議会 崎原盛秀会長
浦添地区交通安全協会 多喜和彦
浦添地区防犯協会 大宜見朝雄

寄贈品(315名分)

ランドセルカバー
反射材付き巾着袋
「いかのおすし」クリアファイル・鉛筆



3月6日 令和7年度全国統一防火標語「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

住民の火災予防意識の高揚を目的として、東部消防組合による第31回防火アピール駅伝が管内(西原町、与那原町、南風原町)で行われ、火災警報器の設置など火災予防の大切さをアピールしました。

すべての住宅で火災警報器の設置が義務付けられていますので、今一度ご自宅をご確認ください。火災警報器は、万が一の火災発生時に早期に警告を発し、命を守るために非常に重要です。

出発前の開会式で与座正治団長が「住民の皆さんの防火意識を高めるとともに、団員の体力増進や職員・団員間の親睦を図りましょう」と激励し、参加者は地域住民へ防火を呼びかけました。



3月7日 ゆいレールについて家族で学ぼう!

西原町まちづくり推進協議会主催の「第2回ゆいレールファミリーイベント」が開催され、25組60名が参加しました。

ゆいレールの貸切乗車体験や乗り方教室、西原町・ゆいレールに関するクイズ大会、さらには車両基地見学などが行われ、公共交通・ゆいレールへの興味をより一層深めました。

参加した許田陽太さん(西原南小学校5年)は「モノレールについて色々なことを学べた。自分の質問だけではなく、ほかの人の質問や意見に納得することができた」、仲村直さん(坂田小学校4年)は「初めてゆいレールを洗車するところが見れて楽しかった。色々なことが学べたので友達に教えたい」と笑顔で話しました。



NPO法人 沖縄県都市モノレール延伸・利用促進協議会、沖縄都市モノレール株式会社のご協力のもと開催されました▲